

レースっていいよね

### - 第3回 - 「まっててね、」の巻

この業界の人はみんなどういふ訳かフケないです。少なくとも私の知る人の中に「うわ、ジジくさー」という人は皆無。みんなお茶目で、ユーモアがあって愛すべき人達ばかり。カッコイイ物が好きという少年の心がそうさせるのでしょうか。特に英国で知り合ったほとんどがまるで悪ガキの集まり。歌う、踊る、悪戯する、「いい年して、ちょっと落ち着きなヨ。」そんな理屈は通らない。巻き込まれたが最後、ひたすら脱線ゲームは果てしなく続くのだ。でも、きちんと仕事はします。人一倍プライドの高い彼らの事ですから、絶対にケチを付けさせない。そして何よりライフスタイルをきちんと持っていて、自分と家族をととても大切にしています。

カッコイイ、自分もああいう風になりたい。嬉しかったのは、帰る日を告白したら、「FU ○ K!! 本当か!?!」なんて悔しがってくれた。「おまえは俺達と同じ血だ、必ず帰ってこい」と言われた事。本心かどうかは置いといて、でもそんな風に言われたら、やっぱジーンと来ますよね、「ああ、役に立ってたんだ」、「確かに言葉はイマイチだったけど、人間として認められてるんだ」。

アメリカでも素晴らしい仲間に出会いました。アメリカ人にも、日本人にも。特に今でもリンダはメールをちよくちよくくれるし、たわいない話をしています。

考えてみれば、ラッキーなのかも。行く先々で温かい人達に恵まれている。世界は広いけど、人間は捨てたもんじゃない事を実感しました。今はやるべき事が多くて忙しいけど、必ず帰ります。みんなのいる所が僕の故郷だから。いやあ!!くさっ・・・